

かながわフェスティバル 協賛のお願い

別紙にてご案内のとおり、来る 3/20(木)、しんよこフットボールパークにおいて恒例の「かながわフェスティバル」を開催いたします。今回も素晴らしい会場で楽しいひと時を過ごしていただくことを最優先に考え、従来同様に行うこととなりますので、協賛して下さる皆様を次のとおり募集させていただきます。不躰なお願いでまことに恐縮でございますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【募集内容】

- ①オフィシャルスポンサー(企業):
5,000 円×10 社以上
→プログラム表紙に企業名(商号)を小さなバナーで掲載します。
- ②個人協賛:5,000 円×10 名以上
→プログラム最終ページにお名前だけを順不同で掲載させていただきます。

【協賛金使途】

- ①会場使用料:112,000 円
- ②記念品・賞品:約 130,000 円に充当します。不足分は参加費で賄う予定です。

【申し込み】

メール又はお電話・FAX にて、内田まで次のことをご連絡ください。

- ①金額
 - ②企業の場合はバナー表示名
- ※個人の方でお名前の掲載を希望されない場合はその旨をお伝え下さい。

【協賛金納入先】

横浜銀行 妙蓮寺支店 普通 1008809
かながわクラブ

【締め切り】

3 月 15 日(土)

【連絡先】

かながわクラブ 内田佳彦
uchy@ebony.plala.or.jp
090-3499-3098
FAX:045-381-8884

大会・公式戦結果

Top

【県社会人選手権】

▼3 回戦
vs 六浦 FC 1-2●

小6

【神奈川区少年サッカー選手権】

▼準決勝戦
vs ビッツ 2-4●

小5

【横浜少年サッカー大会】

▼2 回戦
vs アローズ SC 0-2●

今、グラウンドでは...

Top

【県社会人選手権 3 回戦敗退】

Top チームは 2 月 17 日(日)に六浦 FC と、神奈川県社会人選手権 3 回戦を戦い 1-2 で敗れました。内容より、これによりベスト 8 に届かなかったため、天皇杯神奈川県代表決定戦に出場できなくなったことはとても残念です。しかし、これにより、今年にはリーグ戦に全ての力を注ぐことができます。今は気持ちを切り替えて、4 月に開幕する県社会人サッカーリーグ 1 部(KSL-1)に向けて精力的にトレーニングマッチを行い、チーム力を高めていきたいと思っています。開幕ダッシュをかけられるようにチーム全員で戦っていくので、是非 Top チームの試合を観にきてください、よろしくお祈りします!(樋口 圭太)

Youth

【クラブチームの厳しい現実】

選手たちは学年末試験の真っ最中です。学校によって試験時期が微妙にずれており、2 月の中旬から 3 月の中旬まで、全員が揃うまでに実に 1 ヶ月もの幅があります。しかし、この程度はまだましな方です。

毎年 4 月～8 月までは、比較的学校行事が足並み揃っていることが多いため、集中してトレーニングできるのですが、9 月～12 月は、テスト、文化祭、修学旅行等々で、選手が一堂に会してのトレーニングがままなりません。また、学校のサッカー部所属であれば、たとえ授業があろうと、試合や選抜・代表選手としての活動の場合は「公欠」扱いにしてくれます。理解のある学校であれば、クラブチーム所属の選手に対しても「公欠」にしてくれる場合もあります。しかし、そうでない場合が多いため、土曜日に公式戦を組むことは難しいです。午前中に活動することは不可能です。特徴ある活動をする学校が増えたのは好

ましいことですが、クラブチームでの活動や対外試合等の校外活動を考えると、なかなか難しいものがあります。

また、選手たちの日常生活は、体力的にかなり厳しいものがあります。学校が終わり、一旦家に帰り、勉強をしたり必要なことを行った後に再度出かけてきます。練習が終わって家に帰り着くのは、早くても 22:00 過ぎ。それから勉強等々を行い、翌朝登校です。そういった厳しい生活をしながらも最後までクラブチームでの活動を続ける選手たちに対し、社会がもう少し評価をしてくれてもいいのではないかと感じてしまう毎日です。

3 年生はまもなく卒業していきます。3 年間、このクラブに通い続けた強い精神力があれば、きっとこの先どこに行っても通用することでしょう。(内田 佳彦)

Junior Youth

【ライセンス取得講習会】

1 月号にて受講中とお伝えした講習会が無事終了しました。5 泊 6 日が 2 回と 1 泊 2 日が 1 回。36 名いた受講生は、元日本代表、現役もしくは元 J リーガーをはじめ、J クラブ、JFL、学校の先生、地域クラブの人たちと様々でした。そんな中行われた講習の中で「6 分間スピーチ」なるものがありました。先月号にて、小野コーチが「5 分間スピーチ」という話をされていましたが、それに近いかなと思います。必ず一人一回みんなの前で、自分で決めたテーマに沿ってスピーチをし、これを他の 35 人が評価します。これは、物事を論理的に考え、それを自分の言葉で相手にわかりやすく伝えるという日本人に欠けているとも言われる「ロジカルコミュニケーションスキル」のトレーニングということで取り入れられています。さすがに、様々な経歴・立場の人たちのスピーチだけあってどれも興味深い内容のものばかりでした。私のテーマは「かながわクラブ」。自分のクラブを知ってもらいたい機会だと思ったのですが、話し始めるとついつい熱くなりすぎ、終わってみると 6 分間スピーチなのに約 10 分も経過。おかげで、みんなの評価は「長い!」「しゃべりすぎ!」というのが大多数でした。でもこの甲斐あって、「かながわクラブ」の名前とそれがどんなクラブなのかということが、それなりにみんなに知れ渡ったみたいなので、自分としては作戦成功です!

さて、こんなこともあった講習会でしたが、指導者としてはライセンスを取ることが大事なのではなく、そこで学んだことを日頃の指導に生かしていくことが大事です。また、これをきっかけにさらに精進しなくてはいけないと思っています。まだまだがんばります。(二木 昭)

小 6

【神奈川区少年選手権】

先日、神奈川区少年選手権準決勝がありました。残念ながら負けてしまいましたが、久しぶりに多くの 6 年生が参加でき楽しくサッカーが出来ました。ただ、残念だったのが純粋に勝利を目指す気持ちがなかなか表に出せないところと対応力です。やろうとしているサッカーは良かったのですが、砂の多いグラウンドでボールを止めて安易に蹴らない、かながわのサッカーには適さないグラウンドでした。そのなかで勝つ為にどうしたらいいのか、蹴ってくる相手にはどうしたらいいのか等を自分達で考え試合の中で対応してもらいたかったです。9 日に行われる 3 位決定戦では相手のサッカーやグラウンド状況等を踏まえ考えるサッカーを実践してほしいものです。

【ジュニアユースに向けて】

二木コーチからも言われていると思いますが、積極的に JY の練習にも参加して頂いてかまいません。6 年生の多くの人たちが既に 5 号ボールを購入して練習しているのを見かけます。これは早くから 5 号ボールに慣れようというものだと思います。ですから、スピードや戦術に慣れる意味でも JY の練習に積極的に参加して下さい。練習時間、場所等は二木コーチに問い合わせ頂いてかまいません。皆の力で JY 全体がレベルアップできる様頑張ってください。(益子 伸孝)

小 5

【UEFA チャンピオンズリーグ】

先日、テレビでバルセロナ VS セルティックの試合を眠い目をこすりながら見ました。個人的にはファーストレッグでホームゲームに滅法強いセルティックに勝って欲しかったのですが・・・いちばん輝いていたのはロナウジーニョではなくやっぱりメッシでした!!

2 点目のアンのり得点シーンもすばらし

かったのですが 1 点目のメッシとデコだった 2 人でセルティックのディフェンダーを棒立ちにしてしまう得点には思わず声を上げてしまいました。

試合は夜遅くに始まるので、かながわクラブの子供たちはお父さん・お母さんにビデオか DVD に録画してもらってぜひ世界最高峰のプレーをぜひ見てください

【攻守の切り替え】

サッカーは野球やアメフトなどとは違い攻守がはっきり分かれていないため、頭の中で攻守の切り替えをすばやく行うことが勝敗に大きく左右されてきます。

最近の練習では、ミニゲームの練習に特別ルールを加えて考えてプレーをすることに加え攻守の切り替を早くすることも行っております。

次の学年になるまであまり時間はありませんが、試合中で少しでも選手たちが意識できるように頑張っていきたいと思えます。(丸山 祐人)

小 4

【災い転じて?】

2 月 24 日の活動が、当初予定されていた練習から急遽試合に、更に当日には再び練習にと、最近の天候のように目まぐるしく変更になりました。そのために皆様方に多大なご迷惑をおかけしたことをここで深くお詫び申し上げます。しかしながら、この窮地も、お父様、お母様方の温かいご協力により、子どもたちにとっては、練習試合とは違うけれども、それなりに楽しい活動となったことと確信しています。

当日は、子どもたちだけでなく、嵐のような強風の中を応援に駆けつけてくださった多くのお父様やお母様方がいらしたので、お父様方に無理をお願いして 1 チーム作っていただき、合計 4 チームでのホーム・アンド・アウェイ方式の総当りのリーグ戦を行いました。前半終了時では同率の 2 位で折り返し、後半戦に向けてスタミナ切れを心配されたお父様チームでしたが、選手層の厚さを活かし(?)、後半戦は、子どもたちのゴールに容赦なくシュートを叩き込み、3 連勝で見事優勝を飾り、見事に父親の威厳を示すことに成功しました。

応援のお母様方からは圧倒的に子どもチームへの声援が多く、時折お父様方のプレーに対しては「ムキになって…」とか

「大人気ない…」などと辛口の意見が聞かれました。しかし裏を返せば、大人がムキになり、大人気ないプレーをせざるを得ないほどに、子どもたちが上手になっているということなのです。ですから、今後はお父様方の必死のプレーに対しても温かいご声援をお願いしたいものです。

【サッカー上手もゲーム上手も同じ個性！】

前回述べたように、やや消極的になっている子どもたちの存在を如何に解消していくかは、練習メニュー的にはそれほど難しい課題ではありません。個々のボールに触れる回数を多くして、積極的にゴールを目指す練習メニューを導入すればいいのですから。難しいのはその練習の効果を上げるための前提として、違いを認める土壌、相手を尊重する雰囲気やチーム全体に備わっていないなければならないことです。

例えば、4年生の中には、サッカーが上手な子もいれば、スキーが上手な子もいるでしょう。また、勉強が得意な子、ピアノが得意な子、優しい性格の子、相手の気持ちを思い遣ることができる子、ゲームの上手な子、昆虫の好きな子など…。それら一つ一つは素晴らしい個性であって、どれも優れていて、どれも劣っているというように、優劣をつける類のものではありません。しかし、なかには勘違いをされる親御さんや子どもがいて、サッカークラブなのだから、サッカーの上手いことが最も価値があると考える場合があります(決してサッカーが上手いことを否定するものではありません)。そういう人たちは、(レギュラーは意味があるが、そうでなければサッカーをやっている意味がない。試合に出られないのであればわざわざ行く意味がない)と考えます。更に飛躍して、(サッカーが上手ければ何をしても許される)とまで考えるようになってしまいます。

【積極的な取り組みを生む雰囲気づくり】

そういった考えを持つ人が含まれている集団では、練習に真剣に取り組む意欲をそがれたり、下手な人に対するいじめが起こったりします。

しかし、幸いにも、この4年生の子どもたちは相手を認めることができ、尊重し、一緒にプレーすることができています。こ

れには、家庭の価値観や躰の問題も影響するでしょうし、現場での指導も少なからず作用しているはずですが、とりわけたくさんのお父様・お母様方が練習や試合を見に来てくださいます。グラウンドでの横のつながりを発展させて多くの飲み会が開かれてコミュニケーションを図っています。そして、自分の子だけでなく、どの子にも温かい目で接して下さっています。こうした子どもたちが安心できる空間、失敗しても温かく見守ってくれる雰囲気づくりが子どもたちの意欲を引き出すのです。

どんなに意図のある画期的な練習方法であっても、取り組む子どもたちに積極性がなければ絵に描いた餅にすぎません。そういう意味で、グラウンドは子どもたちが積極的にチャレンジし、失敗できる場であればならないのです。

【相手が大人であろうが…】

安心して失敗できるようになった(?) 子どもたちは、また前向きに取り組むようになりました。一生懸命にプレーをして、ミスが出たのなら、それはみんながカバーしてくれます。

今回も、相手が大人チームであっても、同じ4年生であっても、どの子も自分の思う最高のプレーをするべく頑張っていました。見事なミドルシュートを決めた子、ぶっちぎりのドリブルシュートを決めた子、勇気を出してヘディングシュートを決めた子、鮮やかなパスワークでシュートを決めた子、体を張ってディフェンスした子、慌てずに相手からボールを奪った子、体を入れて相手からボールを奪った子、ナイスセーブのキーパーなど…。そうしたプレーが大人の闘争心に火をつけたのです。残念ながら最後は体で負けてしまった感がありますが、体いずれ大きくなりますのでご安心ください。

【育て スポーツ心！】

最後に2月18日から23日にかけて朝日新聞朝刊に掲載された記事(生活面—あなたの安心「育て スポーツ心」)のなかから、子どもにスポーツをやらせる親(大人)として注意しなければならないことをいくつか抜粋して終わります。どうしたら子どもにスポーツ心が芽生えるのか、非常に示唆に富む内容でしたので、全体を是非一読していただければと思います。

■子ども精神面を支えるには…

①親の一言が両刃の剣に

②感情的に声かけしない

③自信が成長の源に

■子どものスポーツする環境をどう整えるか？

①親の夢を押しつけない

②親同士も連携の姿勢で

③采配は指導者に任せる

(佐藤 敏明)

小 3

個人差はあるでしょうが、ここ1、2ヶ月の間に3年生はぐんぐん伸びてきていると感じています。特に顕著にその進歩が見てとれるのは、ボールタッチの部分です。プレッシャーの厳しい対外試合ともなるとまだまだ納得できるレベルにまで達していませんが、それでも以前と比べればファーストタッチでボールがおさまるようになってきているので、単純なコントロールミスからボールを失う回数が少なくなり、結果として周りを観る余裕が出てきたように思います。そのおかげでプレー中も顔が上がるようになり、相手の動きを観ながら落ち着いて逆をとることができるようになってきました。現状では、なかなか結果を残すことができておりませんが、確実に前進していると思いますので、お子様には引き続き励ましのお声をかけてくださいますようお願いいたします。

【3年生のみんなへ】

サッカーが上手になるには、やっぱりサッカーをいっぱいするしかないと思います。毎日少しずつでもよいのでボールに触る時間を見つけてチャレンジしましょう。そして、うまくできない時は「どうしてだろう、なんでだろう」と常に考える習慣をつけてください。その積み重ねできっと上手になっていくはずですが、そしてその時は、今よりもっともっとサッカーが楽しくなっているに違いありません。(鈴木 章弘)

小 2

2週間程前に卒業判定を見に大学へ行きました。卒業見送りになってしまった時のことも考え、親への謝罪の言葉も考えつつ学校へ…。掲示板の前に行き、ドキドキしながら自分の名前を探した所、無事に卒業オクケーの欄に名前がありました！嬉しさ反面、心のどこかでもう1年間学生でもなあ～なんて少し甘い考えをし

てしまいました。そんなことも思いつつ、只今思い出づくりの真っ最中で色々の所に行っております。3 月にはまたも宮崎に行きます。前回の悔しさを取り返すために！しかし今回は一人旅・・・(涙)。

ご存知の通り 2/11(月/祝)に港北小学校の体育館にて「女性のためのやさしいフットサルタイム」が開催されました。中学生以上の女性であればかながわクラブ員でなくても大丈夫ですし、サッカー、フットサルの経験のあり、なしに関係なくなたでも参加出来ます。

当日は 20 名程の参加者が集まりとても良い雰囲気でも盛り上がっていました。なかなか体力があるもので、中にはもうダメと言うお母さん方の声も聞こえていました。第 2 回もあると思いますので興味のある方は是非ご参加下さい。子供たちがいつも練習や試合でやっていることの凄さや難しさに気づくと思います。外から見ているサッカー、実際にやるサッカー、かなり違うものです。もう子供たちに何も言えなくなってしまうかも知れませんね(笑)。

(鞍川 潤一)

幼児・小 1

【異常気象!?!】

この冬は、雪が降ったり風が強かったりで活動の変更など影響が出ています。何とか活動したいと保護者の皆様のお力も借りて環境は整えるものの、ここで難しいのが子供たちが「やる気」を持ち続けられるかどうか。特に 2/24 の活動は、朝一番からあの大風で話も出来ない、聞くのも大変、目も開けていられない、という状況でしたから、幼児・小 1 の子供たちが嫌になってしまうのが一番の心配でした。

が、しかし。終わってみると、ある子から「楽しかった、来週もいっぱい試合(ゲーム)がしたい」とのコメント。これには正直本当にうれしく思いました。

実は当初はキックの練習をメインに考えていました。しかし、この状況ではどうにもならずゲーム主体に切り替えた結果のコメントではあったものの、それでも一生懸命プレーしていた子供たちにある種の逞しさを感じました。

この学年での活動もあと少し、子供たちの成長を感じることでできた活動でした。

【ご協力ありがとうございました!】

この状況の中、まずはグラウンド整備を

していただいた Papas の皆様、グラウンドへの水撒き、風で倒れるコーンを何度となく立て直し、更にはゲームにも参加いただいたお父様方、殆どどなたかわからない姿(失礼!)で応援いただいたお母様方、本当にありがとうございました。子供たちも砂だらけでしたが、同じくらい砂だらけになってサポートいただいた皆様に感謝申し上げます。

しかし、本当にすごい風でしたね。私はまだ目の中がゴロゴロして時々涙が出ます。←まさか花粉症!? (小野 津春)

【今日この頃】

ご無沙汰しております。年明けからこの 2 ヶ月漸く落ち着いて日本で過ごすことが出来ました。といっても、風邪を引いたり、イラクから客人が大勢で来たり、日本にいても体は酷いことになってました。一番酷かったのは、出張から帰国し、早速風邪をもらってこじらせ、気管支炎と蓄膿になってしまったことです。今でも顔の奥に鈍痛があり、耳鳴りがします。浜崎あゆみも同じようなことで耳が聞こえなくなった様(そうだった?)ですので、やはり注意が必要ですね。

最近ではちよくちよく練習にも顔を出すようになれました。土曜は中学生の練習に混ぜてもらい(邪魔だよな)弱った体を鍛え、日曜は 3 年生の練習にて大声をあげ、なんだか心が癒されます。これでお酒に任せて、上司に噛み付くことも減るでしょう…。(同僚のみんなごめんよ・・・)。

小学三年生は、最近ちよくちよく顔をだしているの、名前も覚えてきて、又、去年より、みんな随分うまくなってきたので、なんだかとてもうれしく思います。(天皇陛下か! ?おのれは!)

今はフリーのアシスタントとして、いろんな学年で活躍(うそです。コーチの皆様、すいません。)していますが、来期はなんとか落ち着きたいものです。とりあえず目標は失った審判資格を取り戻さねば!!

3 月中旬より、ブラジル、アルゼンチン、チリに行ってきます。帰りに中東とアフリカへ寄るので、戻りは 4 月上旬-中旬となります。(スケジュールを思うと、又、上司に噛み付きそう。)(川島 浩司)

Papas

【新年度登録更新手続き】

現在、新年度への Papas の登録更新手

続きを進めております。3 月 9 日が締め切りです。手渡し、郵送、e-mail のいずれでも結構ですので、お忘れなく。また、かながわクラブ Papas を退部をされる場合にも、文書の提出をお願いしています。よろしくお願ひします。

【県マスターズリーグ】

先月お知らせした県マスターズリーグへの加盟申請ですが、3 月 15 日に正式に認められる見通しとなりました。4 月から全 9 試合のリーグ戦が始まりますが、登録手続き等については、15 日以降にメールで連絡いたします。

【県シニアリーグ開幕】

新年度の県シニアリーグの開幕戦は、2 部、4 部ともに 4 月 6 日(日)に行われる見通しです。今から日程調整をしていただき、できるだけ多くの参加者を怪我のない壮年サッカーを今年も楽しみましょう。

(茅野 英一)

Mistral

【Mistral は名門?】

今回は趣向を変えて Mistral の歴史を少し。

その昔、かれこれ 20 年くらい前でしょうか。かながわクラブに女性の部が設立され、「レディース」としてスタートしました。もちろん暴走族ではなく、れっきとしたサッカー部門です。なんと、当時は、浜野コーチや佐藤コーチの奥様、二木コーチや益子コーチのお母様が参加されていました。本当は写真を掲載したいのですが、少し殺気を感じるのでやめておきます。因みに活動は平日の午前中に三ツ池公園を利用していました。

その後、日産 FC(今のマリノス)との合併話の中、レディースは実質の解散。残ったメンバーでサークルとして活動を始め、「岸根レディース」として再スタートを切りました。この時から指導を頼まれて関わってきたのですが、当時は練習に来るメンバーは大抵 3~4 人。岸根公園のすみでみんなが来るのをぼつんと待っていた記憶があります。

その後近所の幼稚園のお母様方が加入してくるようになり、あれよあれよとメンバーが増え、選手たちも力をつけ、気づいたときには県で優勝。関東でも優勝してしまい、なんと JFA からお金を頂いてママさんの全国大会に出場してしまいました。結果は

1 回戦で PK 負け。悔しくてみんなで大泣きました。チームが強かった分個性的な選手も多く、結局その後チームがうまくまとまらなくなり解散。またまた残ったメンバーの面倒を私がみるようになり、「横浜ミストラル」としてスタート。その後多くの人が入れ替わり、マネジメントの難しさ等々もあって、結局かながわクラブの一部門の「Mistral」となりました。つまり、元の鞘に収まった格好となったわけです。今では少人数で細々と活動していますが、関東で一番強かったチームの血を受け継いでいるんですね。

因みに Mistral とは、フランス南東部に吹く地方風のことです。(内田 佳彦)

ヨーガ

【行ってきました！西インド！】

二年前に初めて渡印したときは南インド、二回目は北インド。というわけで今回は西インドへ行ってきました。シンガポール経由で今をときめく経済の発展地ムンバイへと向かいました。ムンバイよりもボンベイと呼んだほうが馴染みのある方もいるかもしれませんが。本来はムンバイという地名。でも英語圏の人には発音しづらいという理由からボンベイと呼ばれるようになったそうです。ムンバイは予想以上に活気のある街でした。あちらこちらが工事中で建築ラッシュという印象です。ムンバイ近郊では、物価もここ数年で急上昇しているとのこと。街にでてみると、昨年訪れた北インドのデリー近郊で私が買った 100 ルピー(約 300 円)のワンピースとほとんど同じ商品に 300 ルピー以上の値がついていました。インドでは、同じ商品に二度巡り会うことは珍しいのでビックリ。付いている値段で二度ビックリです。

最も長く滞在したのがロナワラという所。カイバルヤダーマ・ヨーガ大学があるところ。大学内のアシュラム(道場)に 5 日間滞在しました。毎回のインド研修旅行では驚きと感動の連続ですが、今回も「!!!」でした。ヨーガのクラスでは脚ほぐしをしながら少しずつ披露しています。寒さに負けずに、笑える話を聞きに(?)クラスに足を運んでみてください。

(伊藤 玲子)

たわごと 理事長の戯言

【雪かき】

港北小で雪かきをしました。2 月 3 日の日曜日に降った雪が、火曜日になっても、案の定体育館側のひな壇の前 5m 幅でしっかりと残っています。冬場は日が当たらないため、霜が降りてぐちゃぐちゃになりやすい場所です。数年前の雪の時など、結局荒れに荒れて最後は校庭整備工事が入ったほどでした。そんな事態は避けるべく、今回は早めに対処しようと、二木コーチや長嶋コーチとともにスコップ持参、長靴姿ではせ参じました。小学 5・6 年生数名とジュニアユースの選手数名が助っ人に来てくれました。みんなでスコップやトンボ、一輪車を使って雪をどけるのですが、日陰のためかなり凍っていてなかなか思うようにはかどりません。悪戦苦闘 2 時間、なんとかあっすらと土色に変わったところであたり一面真っ暗となりタイムアップ。これであとは暖くなるのを待つだけです。ご協力いただいた選手の皆さん、ご理解いただき用具を貸していただいた港北小の長部副校長、本当にありがとうございました。

【雪かきふたたび】

2/3(日)に雪が降り、一日でも早く練習ができるようにと、火曜日に多くの方の手助けで港北小の雪かきを行い、奇跡的に木曜日には校庭が利用できるようになりました。しかし、喜んだのもつかの間、2/9(土)の夜からまたもや無情の雪…。日曜日に予定されていた港北 FC との練習試合もキャンセルとなり、小学生は体育館での活動となってしまいました。なので、2/10(日)はまたしても雪かき。しかも今度は一人です。幸い前回ほどの積雪量がなく、作業を行ったのも昼時だったので凍結している箇所もありません。トンボと熊手とブラシがけの作業を 90 分ほどで終えました。

あとはそっとしておいて自然乾燥を待つばかり。ものすごく水はけのいいグラウンドなので、火曜日にはいいコンディションになるでしょう。と思ったら…。月曜日には Papas の活動があったんでした…。

【グラウンド】

日頃大変お世話になっている港北小は、随分前に雨水の貯水施設としての工事をしたこともあり、実はとっても水はけのいいグラウンドです。夏場に夕立があっても、30 分後にはグラウンドは乾いている状態です。にもかかわらず、冬場は体育館側

の斜面に面した部分が約 5m×60m に渡って、早朝は霜が降りたり凍りついたり、日中はそれがとけてぐちゃぐちゃになることの繰り返しです。そこに雪が降ったらもうアウト。何もしなければしばらくその雪が居座ってしまいます。なので積雪があった時には雪かきをするようにしたのですが、そうしたことをしているうちに欲が出てきます。もっとこのグラウンドを良いコンディションにできないだろうかということです。去年の夏過ぎにはコートブラシを 5 本用意し、活動後には必ず整備するようにしてきました。設立当初から行っている、活動前のゴミ拾いや石拾いの成果もあり、最近は大いぶきいい状態になってきたと自負しているのですが、ゆるい状態の時に使った後に整備するレーキ(トンボ)の数が少し足りません。なので少しだけ買いました。これでもっと良いコンディションにすることができるようになりました。

あとはここに芝生の種をこっそり蒔くだけです。(内田 佳彦)